



平成19年3月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成19年2月23日

会 社 名 株式会社 ヒューネット

（JASDAQ：コード番号：8836）

（URL <http://www.hunet.com>）

代 表 者 役 職 名 代 表 取 締 役 社 長
氏 名 兵 頭 利 広

問 い 合 せ 先 責 任 者 役 職 名 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長
氏 名 門 倉 勇 治

（Tel：（03）5204-3161）

1．四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度 : 無
における認識の方法との相違の有無

2．平成19年3月期第3四半期業績累計の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

（1）売上高（百万円未満は切捨て表示しております。）

	百万円	%
19年3月期第3四半期累計	15,885	(26.9)
18年3月期第3四半期累計	12,520	(7.7)
（参考）18年3月期	27,630	(34.5)

（注）パーセント表示は、前年同期比増減率であります。

〔売上高又は売上高に相当する事項に関する補足説明〕

当該四半期までの売上高につきましては、前年同期比26.9%の増加となりました。

不動産事業においては、不動産流動化事業における収益物件等の販売に加えて、戸建住宅等の販売により、15,567百万円の売上となりました。

環境事業においては、壁面緑化および屋上緑化工事の完成等により228百万円の売上となりました。

液晶事業においては、TN型文字ドット表示装置の納入等により、90百万円の売上となりました。

（2）当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象 該当事項はありません。

3. 平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	44,000	300	9,900	50 10

〔業績予想に関する定性的情報等〕

当第3四半期におけるわが国経済は、原油価格の動向等の懸念材料があったものの、好調な企業収益のもと、堅調な設備投資および雇用環境の改善等とともに、個人消費も順調に推移し、今後も景気の回復基調は継続するものと思われます。

このような環境の下、当社の中核をなす不動産事業を積極的に推進すべく、証券市場より調達した資金を活用し、主に「不動産流動化事業」の一段の強化および「マンション事業」の新規拡大に向けて、優良物件の購入を進めております。

とくに「不動産流動化事業」につきましては、当社のノウハウを駆使したバリューアップを図ることで、資産価値を高め、投資家および事業会社へ売却するなど効率的な投資リターンを実現すべく、東京都心部を中心に開発型商業施設用地の取得を積極的に行いました。また「不動産ファンド」につきましては、当初計画通り第5号、第6号ファンドを組成いたしました。今後さらなるフィービジネスの基盤強化を図るべく、レジデンシャルファンドの組成も強化してまいります。さらに第60期よりスタートした「マンション事業」では、すでに2棟のマンション建設に着手、1棟は昨年9月に販売を開始し、もう1棟は今年3月に販売開始予定であります。今後も、東京および地方の大都市を中心にさらに用地取得を進めてまいります。

「宅地・戸建分譲事業」は引き続き関西エリアで、地元密着型での営業展開を行っております。

こうした諸施策推進の結果、コア部分の不動産売却物件について当月引渡し予定の渋谷区神宮前（表参道）に続き、東京都渋谷区宇田川町、渋谷区神宮前（竹下通り第2号）の商業施設の再開発プロジェクトや宮城県での複数のレジデンシャル物件等の売却（販売予定総額約30,000百万円）により、通期見通しでは、中間決算発表時における予想数値に変更はありません。

業績予想につきましては発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上